

「ミニ・企画展」貸出しパネル

1. 企画展名 内容 ユニセフパネル「私も学校へ行きたい」(2006年作成 B2版13枚)
学校へ行きたくても行けない子どもは、世界で約1億3千万人といわれており、その大半は女の子です。教育を奪われた子どもたちは、自分の才能を伸ばすことができないばかりか、将来にわたって弊害を被ることになります。パネル写真から、子どもたちの「学校へ行きたいという強い願いや学ぶ喜び」が、私たちに伝わってきます。
2. 企画展名 内容 「子どもの人権 …虐待・いじめ・問題行動」(2008年作成 B2版10枚)
1989年11月「子どもの権利条約」が国連で採決されました。しかし世界では、子どもの「生存権」さえ脅かされている状況があり、子どもの人権は厳しいものがあります。経済的に豊かとされる日本の子どもたちにも「虐待・いじめ・問題行動」など、子どもの人権が深刻な問題があることを、展示を通して訴えています。
3. 企画展名 内容 「HIV/エイズと人権」(2009年作成 B2版10枚)
エイズは、「ヒト免疫不全ウイルス」に感染することによっておこる病気です。しかし、「こわい病気」「特別な人がかかる病気」などの誤解や偏見があるため、感染の防止や早期発見、早期治療の機会を遅らせる結果となっています。「教育こそ最良のワクチン」と言われており、中学・高校生の性教育教材に最適の内容です。
4. 企画展名 内容 「地球温暖化とその影響」(2008年作成 B2版13枚)
地球温暖化防止に向けた、私たち一人ひとりの具体的な行動が、いま求められています。異常気象や海面上昇、農業や生態系への影響などが世界各地で報告されており、温暖化とその影響を、多くの写真で分かりやすく紹介しています。
5. 企画展名 内容 「地球環境と共存するエネルギー」(2008年作成 B2版13枚)
福島原発事故による放射能汚染によって、地球環境と共存するクリーンなエネルギーへの転換と普及が、重要な柱になっています。現在、日本各地で導入されている、地域の特色を生かした、石油や原発に代わるクリーンなエネルギーの現状を紹介します。
6. 企画展名 内容 「情報化社会とインターネット・出会い系サイト」(2006年作成 B2版16枚)
情報化社会は、インターネットを通して世界中の人々と情報のやりとりができる双方向の社会を実現し、私たちの生活は便利で豊かになりました。しかし、情報が一部の人に管理されて情報操作されたり、悪用されて犯罪や人権侵害を引き起こす事件も多く発生しています。また、インターネット・不正メール・出会い系サイトなどによる被害も報告されており、子どもたちが巻き込まれない対策が必要になっています。
7. 企画展名 内容 「ユビキタス社会」(2006年作成 B2版11枚)
「ユビキタス」は、ラテン語で「どこにでもある」という意味です。テレビ・冷蔵庫・洋服・食べ物など、身の回りのものに電子タグが埋め込まれ、情報のやり取りが出来るようになると、もっと生活が便利になり、豊かな福祉社会が実現します。
8. 企画展名 内容 「ユニバーサルデザインのまちづくり」(2003年作成 B2版9枚)
ユニバーサルの考え方は、すべての人が安心・便利・快適に暮らしていけるよう、ものづくりやまちづくりに取り入れられています。お互いの個性を認め合い、人を大切にするユニバーサルデザインのまちづくりを、パネル写真でわかりやすく解説しています。